

【初年次教育センター】令和6年度 FD 活動の「年間報告」

1. 学部独自の FD 活動についての報告（*は必須項目）

(1) 公開授業・ワークショップ

※公開授業と公開授業に関するワークショップが対象

①公開授業：実施なし

- ・科目
- ・担当教員
- ・実施日時/場所
- ・*参加人数 名（職員・学生が参加した場合は内訳を記載してください）

②ワークショップ：実施なし

- ・実施日時/場所※公開授業と日時/場所が異なる場合のみ記載してください
- ・*参加人数 名（職員・学生が参加した場合は内訳を記載してください）
- ・ワークショップでの意見交換内容

(2) その他研修会等

※(1)以外の学部 FD として実施する研修会が対象（人権研修会を除く）

- ・テーマ：授業の実施概要と関連する諸課題
- ・概要：授業の実施概要の確認と実際の状況についての情報共有及び改善案の検討
- ・実施日：以下の通り
- ・*参加人数：10-15 名程度

第1回①「自己発見と大学生活」担当国会議：3月19日（火）10:00～12:00（12402 教室）

第1回②「自己発見と大学生活」担当国会議：4月2日（火）10:00～12:00（SR308 教室）

第2回「自己発見と大学生活」担当国会議：7月10日（水）12:30～13:10（オンライン）

第3回「自己発見と大学生活」担当国会議：8月22日（木）11:10～12:30（オンライン）

※新担当教員の研修会

「自己発見と大学生活」新担当教員研修会3月19日（火）12:00～ 1時間程度（12402 教室）

「自己発見と大学生活」新担当教員研修会4月2日（火）12:00～ 1時間程度（SR308 教室）

第1回「自己発見と大学生活」情報交換会：5月15日（水）16:45～18:15

開催方法：オンライン

第2回「自己発見と大学生活」情報交換会：6月26日（水）16:45～18:15

開催方法：オンライン

2. 総括（今年度の学部 FD を通して得られた気づきや見つかった課題等）

本年度の「自己発見と大学生活」は、12号館のグループワーク向けの教室での実施となり、コロナ禍後、実施形態・場所ともに従前のスタイルに復帰した。担当国会議や情報交換会では、授業の工夫や学生ファシリテータとの協働の在り方について、幅広い情報共有や率直な意見交換がなされ、授業の改善や担当教員のモチベーション向上に貢献している。学生ファシリテータの技量が年々向上しているのは、F工房での活動やファシリテータ研修の成果であろうが、授業へのコミットメントの程度をどのあたりまでを適正と考えるのか、ある意味で悩ましい問題が生じているともいえる。クラス担当教員の考え方やスタイルにもよるが、統括・副統括教員による尽力もあって、現在のところはバランスのとれたコントロールが効いているのではない。

3. 次年度に向けての取り組み

「自己発見と大学生活」では、学生ファシリテータの協力を得て授業運営をしており、学生と協働して授業を行うノウハウが蓄積されている科目であるが、学生ファシリテータの技量が向上していることから、授業へのコミットメントの適正化について検討することが課題となっている。また、本科目は、全 30 クラスが授業内容を統一して行うため、ティーチングガイドブックを用意して授業運営できる体制をとっているが、毎年、新任教員が当該科目を担当しているため、統括・副統括教員を中心に、より安定した授業運営が確立できるように、教員・学生ファシリテータを交えたコミュニケーション力の強化を図りたい。

※この内容は当該年度終了後、本学における FD 活動の一環として、本学 HP に掲載します。